

## Cicuta 古典ケース

### Case 1

ブリジットが連れてきた赤ちゃんは、黄色の皮質湿疹で覆われていた。

ブリジットの鼻は歪んでいた。「馬が私を蹴ったときに起こったことです。私は 20 歳でした。世界はあまりにも狂っているのです、農場の裏の田舎に住み、完全に自給自足することに決めました。私たち自身の水源と私たちの発電機も持っています。私たち自身の野菜と私たち自身のチーズを生産しています..」

乳児は *Cicuta virosa* 15 C の 1 回投与で急速に治癒した。

これらの患者は内向きになり、引きこもり、狂っていると感じる世界から逃れるために自分自身を疎外させるのだ。

### Case 2

スイス人の仲間である Dr. Hansjorg Hee がインドに滞在している間に私に語ってくれたケースがある。8 - 9 歳で顔に湿疹ができた子供のケースであった。その湿疹に特有な点は、ウェットな湿疹でジクジクと滲出し痂皮を形成するのに痒みがないということである。またその女の子は非常に引っ込み思案で無口であった。彼女の問題が始まる 2, 3 年前、棺桶に生きたまま入れられて埋められた少女や天使の話とか、目覚めるとあらゆる類の怪物が彼女の周りにいて叫んでいるとかいう話を父親がしたのだった。この話は彼女にひどいショックを与え、彼女の全体的な雰囲気や性格が変化した。私は以下の事に基づいて彼女には Cic.を与えるようすすめた。

- Horrible things, sad stories affect her profoundly : 恐ろしい事や悲しい話に深く心動かされる。
- Sadness from sad stories : 悲しい話から悲しみ・鬱状態。
- Talk, indisposed to, desire to be alone, taciturn : 話したがる。独りでいることを欲する。無口。
- Man, shuns the foolishness, of : 人の愚かしさを避ける。
- Sensitive to sad stories : 悲しい話に敏感。
- Company, aversion to, avoid the sight of people : 人を嫌う。人が見えないようにする。
- Quiet disposition : 静かな傾向。
- Dullness, sluggishness : ぼんやりとした状態。不活発。

これらと併せて、“Eruptions without itching : 痒みのない発疹” というルブリクスを Phatak のレパトリリーからひろった。

Dr. Heeによるとこの患者は Cic.で精神的にも身体的にも非常に改善をみたとのことである。

### Case 3

2003年6月30日

その12歳の女の子は父親が連れて来た。彼女は何も理解できていない。不随意に排尿と排便をする。全ての症状は誕生したときからある。その子は自分で食べることができず、食べさせてあげなければならない。彼女は食べ物を噛むことはなく、飲み込むだけである。彼女は口に指を置き、親指を吸っている。夜は起き続ける。一不眠。女の子は絶えず唸っている。彼女は激しく歯ぎしりする。

その子の出産が帝王切開であったことを除いて、父親から他の情報は得られなかった。

個人史：汗が非常に少ない。

観察：常に排尿が増加していて、彼女からアンモニア臭が出ているので、他の人は彼女から離れていた。

分析：母親の病歴は入手できず、患者の過去の病歴および精神に関してはあまり情報が入手できなかった。しかし、私たちは間接的に次の精神状態に到達することができる。

感覚の鈍さ。(理解できない)

コントロールの喪失(不随意の排尿と排便)

弛緩(不随意の排尿と排便)

他人に捨てられたり放棄されたりする

帝王切開による外傷の可能性

マヤズムは、コントロールの喪失と避けられる感覚のために、ライ病マヤズムの可能性がある。

ファミリー(科)：筋肉やシステム全体の弛緩を伴い、可能性のある傷害後に起きた感覚の鈍さ。それゆえ、ファミリーはセリ科である。

*Ciucta virosa* は、セリ科とライ病マヤズムの交絡点に存在する。

治療：Cic .200C 1回

2003 年 8 月 11 日

2 日後より夜尿症。よく眠れるようになったが、また眠れなくなった。歯ぎしり＋。自分に向かって歌う。彼女の口に指を入れる。食べ物をうまく嚙みこらず、全てつぶれていない。膀胱のコントロールはない。

Cic.1M 1 回

2003 年 9 月 22 日

15 日間だけ良くなり、その後再び悪化した。口の中に指を入れ、歯ぎしりする。睡眠が減った。

Cic. 10M 1 回

2003 年 11 月 18 日

尿意をもよおしたジェスチャーを示すようになり、よく眠るようになった。歯ぎしりは依然として持続している。